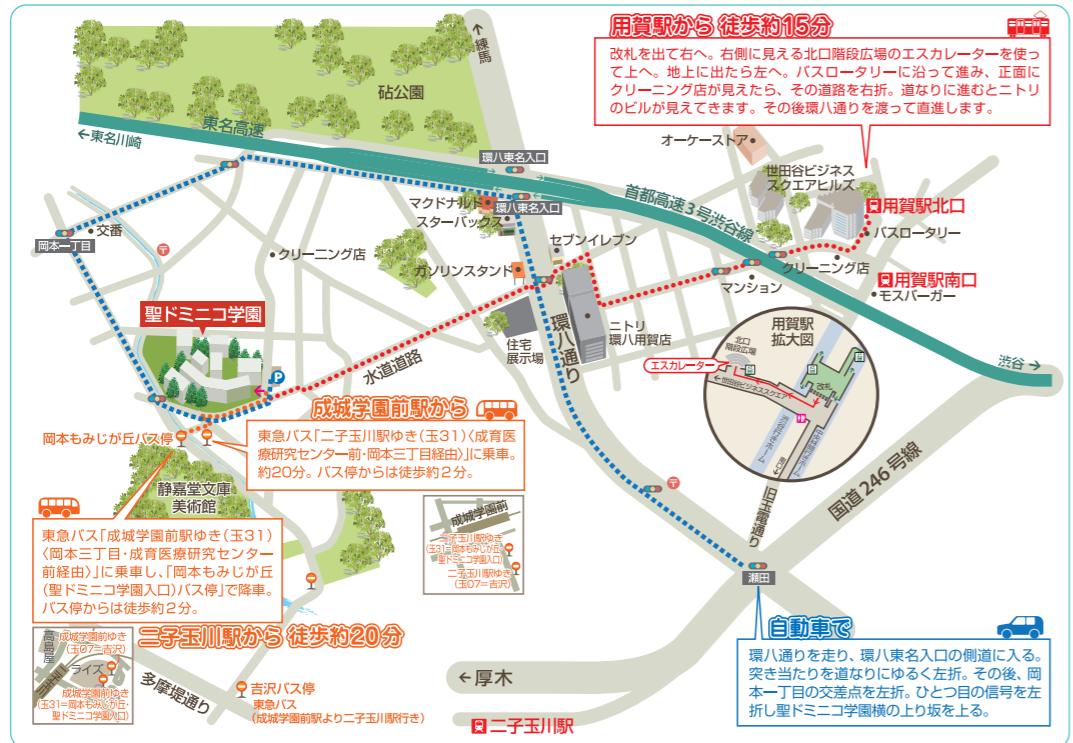




聖ドミニコ学園 中学高等学校

*St. Dominic's
Junior and Senior High School
School Guide*



学校説明会・入試関連行事日程

事前に本校ホームページにて詳細をご確認の上、お申し込み下さい。

学校説明会（約1時間半～2時間）

- 6月22日(土) 14:00～ 学校説明会(インター・アカデミックコース)
- 7月28日(日) 10:00～ インターナショナルコース授業体験&説明会
- 8月25日(日) 10:00～ 学校説明会(学園生活)
- 10月26日(土) 14:00～ 入試体験(英語)&説明会
- 11月 2日(土) 14:00～ 入試体験(国語・算数)&説明会
- 11月20日(水) 10:00～ 公開授業&学校説明会
- 12月15日(日) 10:00～ クリスマスの集い&学校説明会
- 1月10日(金) 18:30～ イブニング(個別相談会)
- 1月23日(木) 18:30～ イブニング・ミニ説明会(試験の注意・手続きなど)
- 2月14日(金) 10:00～ 公開授業&学校説明会

オープンスクール（幼小同時開催）

- 6月15日(土) 授業公開・個別相談

学園祭 & 入試相談

- 9月21日(土)・22日(日) 10:00～15:30

土曜・日曜 個別見学相談会

- 1家庭ずつご案内いたします。(各回90分予定)
日時、ご予約は学校ホームページをご覧ください。

学校見学・個別相談

- 上記日程以外に見学・個別相談をご希望の方は、
中高入試窓口(c-nyusi2@dominic.ed.jp)まで
お問い合わせください。

聖ドミニコ学園中学高等学校

〒157-0076 東京都世田谷区岡本1-10-1 TEL 03-3700-0017 FAX 03-5716-4646 メールアドレス c-nyusi2@dominic.ed.jp



聖ドミニコ学園ホームページ
<https://www.dominic.ed.jp/>



学校説明会等
予約フォーム



2025





真理を求め自由に生きる人 －未来に開く6年間－

本学園の教育を貫くものは、“真理の探求”です。これは学園が始祖と仰ぐ聖ドミニコの活動を貫いたもので、私たちの教育もこれを軸として行なっています。人間は“人とは何か”と自問しますが、これは神の呼びかけが根底にあるからです。この人間の特性を目覚めさせ、人間らしい人間としての生き方、すなわち、自分で考え、選び、神と良心を土台とした決断をし、行なうことができ、さらに自分の場を発見し、使命を生きる喜びを味わうことができる人間の育成を目指しています。そして、自分の自由や利益の主張だけに流れがちな現代にあっても、自分の行動に責任をとり、愛と誠をもって神と自他に対する果たすべき役割を実践する人間になるよう、生徒のうちに深く種を蒔きつつ進みたいと考えています。

神に愛されている、かけがえのない存在であるとの「カトリック的世界観」に基づいて、学園は未来を生き抜く自制力と実行力をもつ女性の教育を目指しています。

学校長 高橋 幸子



教育理念

真理を求め、自由に生きる

本学園は、カトリックの聖人である聖ドミニコ(ca.1170~1121)の教えを基盤としています。聖ドミニコは、イエス・キリストの生き方にならって、真理を追い求めることにその生涯を捧げました。異教・異端に対して武器をもって戦うことの多かった当時にあって、彼は相手に対して人格をもって向き合い、対話によって真理を宣べ伝えることにつとめました。さまざまな人種、言語、思想の人々が関わり合う今日に、われわれは再度、聖ドミニコの生き方を基盤として、対話のなかに真理を求めていくことが重要であると考えます。

学園に学ぶ子どもたちが、真理を愛し、世の光としてこの世界で活躍できるよう、学園一丸となって歩んでいきたいと思います。

校章の由来



聖ドミニコ会共通の徽章で、モットーである「真理」の擁護を象徴する盾をあらわし、真理を探求することを示しています。
キリスト教のシンボルである十字架と心身の純潔を象徴する百合の花をあしらうとともに、白は純潔と神の御前に正しく生きるものを持つ深い歓喜、黒は他人の幸せに絶えず奉仕する減私の精神を表しています。

沿革

1931年	聖ドミニコ女子修道会の5人の修道女が来日。仙台に修道院を創立	1981年 1月	新体育館(現第2体育館)落成
1950年10月	東京都目黒区駒場に修道院設立	1993年 4月	中学高等学校で週5日制開始
1954年 6月	学校法人聖ドミニコ学園設置認可	1994年 3月	聖堂・カタリナ棟落成
1954年 9月	目黒区駒場の修道院敷地内に聖ドミニコ学園小学校開校	1995年 4月	高等学校、沖縄修学旅行開始
1958年 7月	カトリック池尻教会より、聖イレーナ幼稚園の経営を継承	2000年12月	現校舎落成
1962年 4月	聖ドミニコ学園中学高等学校開校(聖ドミニコ学園小学校校舎の一部を利用)	2007年 4月	新制服採用
1962年 8月	現在の校地に全学園・修道院を移転	2017年 4月	タブレット端末の使用開始
1966年 4月	体育館(現第1体育館)落成	2019年 4月	2コース制(アカデミックコース、インターナショナルコース)開始
1975年 1月	中学高等学校で静修日を開始	2024年 4月	学園創立70周年

聖ドミニコ学園を象徴する 3つの特色

時代や社会が目まぐるしく変わることで、本校が創立以来大切にしてきたもの。

本校にしかない環境が、ひとりひとりの個性を輝かせ、愛と誠をもって社会に貢献していくための力を育てます。

1 カトリック教育

生徒ひとりひとりが神の愛をもって祝福された、かけがえのない生を享けた存在であると考え、本校は教育活動を展開しています。そしてひとりひとりが愛されていることに気づくことこそが、愛をもって他者と関わっていくことにもつながると考えています。

週1時間の「宗教」の授業は、聖書の学びにとどまらず、現代社会の諸問題について、神の教えにもとづきながらその解決策を考えています。

生徒の中にはカトリック信者もいますが、学校として入信を強制することはありません。自由と寛容のなかで、生徒たちには豊かな人間性を養っていってほしいと思います。



2 小規模校

1学年の定員は80人で、中学校では3クラス編成をとっています。専任教員1人あたりの生徒数の少なさは都内私立中学の中でもトップレベルです。

高等学校では1年次に幅広く必修科目を設定し、2年次以降に多くの選択科目を開講することで、自らの進路を考え、その実現に向かうことができるようになっています。選択者が少数でも開講するため、きめ細かな指導をする進路にも対応可能です。

「探究的な学び」も、本校のような小規模校においてこそ実現可能といえるでしょう。学びたいことは何か、自分と向き合いながら考え、問うていく6年間が本校にはあります。



3 女子校

ジェンダーレスが進む今日の社会にあって、別学の教育は一見すると時代に逆行しているように思うかもしれません。一方で自分がどうなりたいか真っ直ぐに考え、気後れすことなく大胆に物事に取り組む経験は、別学校ならではの魅力といえます。そのような経験を重ねることで、ジェンダーにとらわれることなく、確信をもって社会に踏み出すことも可能になると考えています。

「高雅な情操と豊かな教養を具えた自覚ある女性を育成する」(本校学則より)—女子校でしか得られない学びが、新しい時代を切り開いていくための糧となると信じます。



グローバル社会で活躍するための 学びの基盤を培う

インターナショナルコース



英語・数学・理科を中学1年生から高校1年生まで英語で学びます。高校2年生からは、英語科目を全てネイティブスピーカー教員が指導し、スピーキングやライティングに特化した授業を受けることでさらに卓越した英語力を身につけます。英語で行われる全ての授業がネイティブスピーカー教員と日本人教員のチームティーチングで行われるので、日本人教員からのサポートもあり安心です。専門家の指導のもとCLIL(内容言語統合型学習)を取り入れることで、英語力だけでなく他者と協同する力・思考力・コミュニケーション力・発信力を磨きます。インターナショナルコースで培った英語力を武器に、海外大学や国内難関大学への進学を目指します。



アカデミックコース



本校がこれまで重視してきた「対話」の姿勢を土台としながら、学習指導要領にもとづいた堅実な学びの充実をはかっています。英語についてはインターナショナルコースと同等の時間数を確保し、積み重ねる学習を重視しています。またスピーチやプレゼンテーションを授業時に効果的に取り入れ、国際社会で活躍するにふさわしい知性の確立をめざします。高校では、文系難関大学・学部に加えて、理系、芸術・体育・医療看護系などさまざまな進路志望に対応した指導を展開します。



「よりよい明日をどのように築くことができるか」一。

本校では2019年度から2つのコースを設け、それぞれのアプローチを通じて答えのない問いに向き合っていく力を養います。

聖ドミニコ学園 中学校 教育課程

教科	宗教	国語	社会	数学☆	理科☆	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	英語☆	英会話	仏語	ホーリー・スクリプトール	総合的な学習(ドミニコ学)	合計
1年	1	4	3	4	4	1.5	1.5	3	2	5	1	2	1	1.4	34.4	
2年	1	4	3	4	4	1.5	1.5	3	2	5	1	2	1	2	35	
3年	1	4	4	4	4	1.5	1.5	3	1	5	1	2	1	2	35	

●☆印の教科は、インターナショナルコースでは英語スピーカー教諭と日本人教諭のチームティーチングで行います。

●「英会話」はアカデミックコースで実施する科目です。ネイティブスピーカー教員が担当します。インターナショナルコースは、「英語」の授業が6単位となります。

●「総合的な学習の時間」(ドミニコ学)の1年次0.4時間と、2・3年次各1時間は、通常時間割とは別に探究・発表の時間を設定します。

よって週あたりの授業時間は各学年とも34時間となります。

聖ドミニコ学園 高等学校 教育課程

時間数	高校1年			高校2年			高校3年			★英語コミュニケーション III ⑤	数学 III ④	論理・表現 III ②	エクリチュール II ⑤
	宗教 I ①	HR ①	現代の国語 ②	公共 ②	保健 ①	英語コミュニケーション III ⑤	宗教 I ①	HR ①	体育 ②				
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													

●インターナショナルコースは、高校3年間を通して英語を第一外国語とします。英語コミュニケーションI～IIIと、論理・表現I～IIIを履修となります。

●★印の科目は、インターナショナルコースでは英語ネイティブスピーカー教諭と日本人教諭のチームティーチングで行います。

●第一外国語が英語の生徒でも、担当教員と相談の上、右記の科目を履修することができます。高2:仮語演習A 高3:仮語演習B(仮語演習A履修者)・仮語会話

●高校3年次は、宗教I、HR、体育、英語コミュニケーションIII(またはレクチャールII)、論理・表現III(またはエクリチュール)、総合的な探究の時間のほかは、自由選択科目となります。

英仏2カ国語の学びで 国際的な感覚を養う

他者との「対話」のためには、語学の充実が欠かせません。本校では英語・フランス語を中学校で必修としています。語学力の向上だけでなく、その言語がもつ見方・考え方をも身につけていくことをめざします。

英語教育



英語学習の基本であるフォニックスで正しい発音を学び、授業で学んだ内容をスピーチやレシテーションでアウトプットしながらプレゼンテーション力を養います。授業の取り組みとしては、生徒たちが英語に興味を持ち楽しく学習できるよう、iPadを用いて工夫を凝らした授業を行っています。また、中学高校すべての学年に、ネイティブスピーカー教員による英会話の授業があります。英語の授業でインプットした知識や表現を英会話でアウトプットすることで、英語でコミュニケーションをとることの楽しさや喜びを感じることができます。このように様々な学習のアプローチと積み重ねを経て英語を習得することで、コミュニケーション力はもちろん、大学受験にも対応できる本物の英語力が養われます。

仏語教育

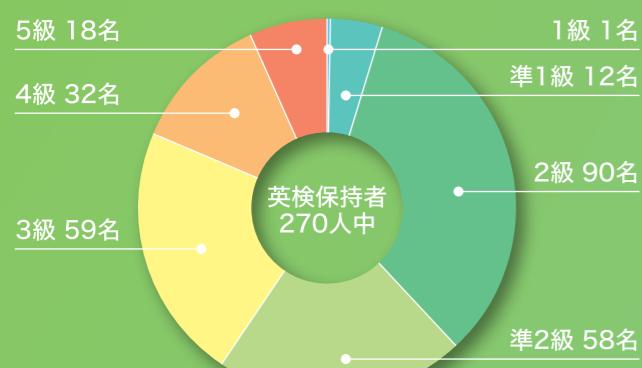


フランス語は、公用語として現在約30の国で使われており、およそ2億2千万人に話されている言語です。フランス語の授業は、中学3年間・週2時間必修です。中学1・2年では本校独自のテキストを使用し、初めてフランス語に触れる人にも学習しやすいように工夫しています。特に、フランス語特有の発音を音とリズムで覚えることで、自然に身につけることができます。1年間学んだのち、仏語検定やDELF※にチャレンジする生徒もいます。高校での授業は選択制となり、高校2年からはフランス語を第一外国語として学習することもできます。総合的な力を養うために、少人数制を活かしたネイティブの教員との授業や、受験対策講座も行っています。その結果、例年、フランス語の力を活かして大学に進学する生徒がいます。
(※DELF…フランス国民教育省が認定している公式フランス語資格。問題もすべてフランス語で出題されます。)

英検・仏検 (2023年度実績)

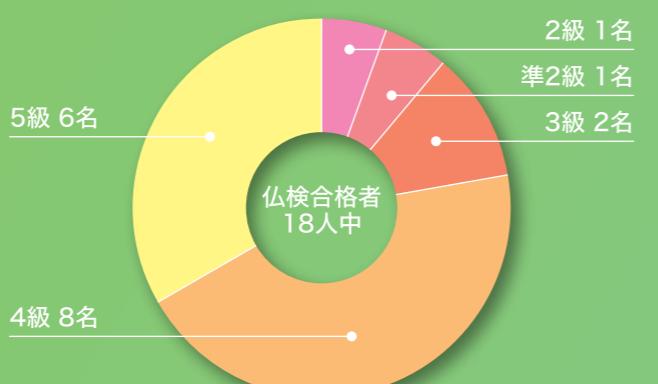
中高英検保持者 内訳

本校では、年に3回、校内で英検1次試験を受検できる英検Dayを設けています(2級までが対象)。高校1・2年生での英検取得実績をいかし、英検利用の大学入試に合格する生徒も近年増加しています。



中高仏検合格者 内訳

中学校3年間で必修科目であることから、高校1年までに4級を取得する生徒が多いです。また高校でフランス語を選択した生徒は、3級以上にも挑戦しています。



海外留学

ニュージーランド中期留学 (中学3年)

中学3年の3学期に留学するプログラムです。ホームステイをしながら、最初の1週間は現地語学学校で英語研修を受け、その後それぞれの学校へ通学します。

ニュージーランド長期留学 (高校1年~2年)

高校1年の3学期から1年間、オークランドにある姉妹校 St. Dominic's Collegeへ、ホームステイをしながら通学します。

オーストラリア2週間プログラム (中学2年~高校2年)

日本青少年海外研修研究会が企画する研修です。現地コーディネーターと引率の日本人リーダー(教員または教員経験者)が必ずつくる安心なプログラムです。

コリブリ【フランス交換留学】 (高校1年~2年)

コリブリとは日仏高等学校ネットワークのことです。日本とフランスの交換留学希望生徒の相互受入による留学制度です。



留学生報告会

海外から戻ってきた生徒が在校生の前で自身の経験を発表します。発表者は、留学の目的や、現地での経験、学んだことなどについて話し、その貴重な経験を振り返ることができます。在校生はプレゼンテーションを聞くことで、海外での学びや生活、多様な価値観との出会いに関心を持ち、海外留学への意識を高めていきます。

主体的・対話的で 深い学びの実現に向けて

真理を求めるこの基礎は「学び、問うこと」。

他者と協働しながら、みずから学びを深めていくことができるよう、各教科が工夫しながら授業を展開しています。

宗教

聖書を通じて、神の愛とイエス・キリストによる人類の救いの歴史、イエス・キリストの福音（よい知らせ）を学びます。「愛」のためにこの世に人間として来られたイエス・キリストの見方・考え方・行きを学び、体得して自分のものしていくことが目的です。



国語

生徒たちが国語を学ぶことの楽しさを感じることができるように、聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと・表現することに注目して学習をすすめます。漢字学習や文章読解はもちろん、スピーチ・作文・朗読などの表現活動にも取り組み、考える力や伝える力を伸ばしていきます。また、教科書の教材やその翻案作品を用いて古文に親しみつつ、中学3年生から高校古典の先取り学習にも取り組んでいます。

総合的な学習／探究の時間 (ドミニコ学)

教科での学習に根ざしつつ、実社会における諸問題などに探究的に取り組むことをつうじて、調べ方やまとめ方といったアカデミックスキルの初步を学びます。学年のさまざまな人たちと関わりながら、課題の設定、情報の収集、整理・分析・まとめ・表現に取り組んでいきます。その学びは高等学校における「総合的な探究の時間」に接続するとともに、大学や社会においても役立つものとなります。



社会

社会生活についての理解と認識を深め、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会をつくる人になるための基本的な知識を学習することを目標にしています。中学校の3年間では、地理、歴史、公民の順番で学習します。それぞれの分野が密接に関連していることに留意しながら授業をすすめています。また長期休暇中には歴史新聞や税の作文などに取り組み、自ら学び、考えることに取り組みます。



数学

国際社会、民主主義的な社会の担い手として、適切に判断して行動できるように、予想や考察、ふり返りといった数学の学習の中で、すでに身につけたことに加え、新たな知識、技能、見方・考え方、数学的リテラシーを獲得することを目指します。探究や問題解決のプロセスの中で、自ら問い合わせを生み出したり、結果やプロセスに対して理由を考えたりしながら、数学的コミュニケーション能力も身につけます。

理科

自然の事物・現象にかかわり、理科の見方や考え方を働きさせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、探究を行うために必要な資質・能力の育成を目指しています。また、自然の事物・現象に関する原理や原則の理解を深めるために、観察、実験に加えてものづくりを行うことなどを通して、科学を学ぶ意義や有用性を実感することで、科学への関心を高めることに重点を置いています。

英語

英語は、世界中の人々とつながるためのツール（手段）です。英語の学びを通してさまざまな人の交流、新しい価値観との出会いは、人生を豊かにしてくれます。授業では、相手の話を理解し、自分の考えを伝えられるようになることを目指し、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく学習します。

仏語

他言語・他文化を通して世界の人々とコミュニケーションをとるこの時代に、将来さまざまな場面で活躍することができるよう、本校では中学校においてフランス語を学びます。中学校1・2年生では耳と口を慣らすことに重点を置き、日常会話や文化を中心で学習します。3年生では文法を取り入れ、文構造の理解を目指します。



音楽

中学校では歌を中心に取り組みます。授業では発声やリズム、音程を正しく身につけることによって歌を美しい歌い、合唱できるようにします。3月には聖堂において合唱発表会があり、クラス合唱と学年合唱の2曲を披露します。よりよい音楽を作り上げようという意気込みをもち、それを十分に楽しんでほしいと考えています。



美術

中学校の3年間、ゆっくりと時間をかけて「新しい自分を発見する」授業を展開していきます。技術指導とともに、生徒ひとりひとりがもっている「感じる力」を引き出すことが、ドミニコの生徒にあった美術教育であると考えています。美術の授業において「タブー」はありません。どこまでもチャレンジしていってほしいと思います。



保健体育

学年に合ったさまざまな運動に取り組み、身体を動かす楽しさや解放感、努力を続けることで得られる達成感などを得ることを目標にしています。50年を超える伝統行事であるダンスコンクールでは、運動の得意不得手に関係なくアイデアを出し合うなかで各クラスが作品を創り上げ、毎年、見応えのある作品が生まれています。



技術・家庭

日常の生活に必要な知識と技能を、実践を通して学びます。とくに、衣・食・住の基礎的な事柄をしっかりと身につけることが大切です。食物等の実習や、被服・手芸の製作を通して、家庭生活をより明るく豊かなものとして、幸福な生活を営むことができるよう、多方面にわたり学習することに努めています。

週5日制のなかで 家庭での学びも大切に

かけがえのない中学・高校時代だからこそ、家庭や学校以外での学びも大切に。

ひとりひとりの生き方が充実することで、学校で過ごす時間もよりよいものとなります。

学園の1日 50分授業×7時間、週5日制のなかでも授業時間を確保しています



制服・アイテム



施設紹介



クラブ活動

学業とバランスよく両立 もうひとつの学びの場

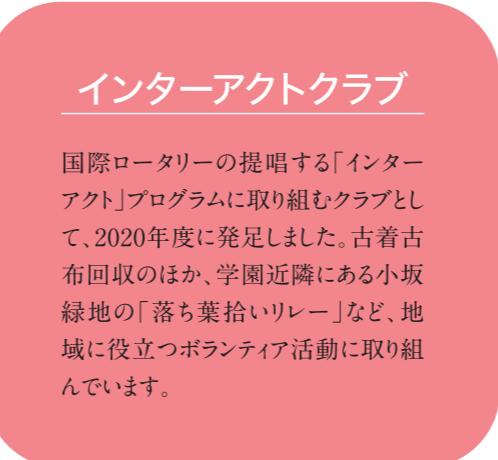
21のクラブがあり、中学生・高校生が一緒に活動します。

異なる学年の仲間とともに、目標に向かって協働しながら成長していきます。



運動部

- バレーボール部
- バスケットボール部
- ダンス部
- テニス部
- 水泳部
- バドミントン部
- ラクロス部



ひとりひとりが 才能を發揮する場

ミッションスクールならではの宗教行事を含むたくさんの学校行事は、
自分自身や身の回りの人の新たな魅力に気づくことができる場でもあります。

学校行事や生徒たちの活躍を、
ホームページの広報ブログ
『キャンパスの風』で公開中!



ドミニコ生としての歩みが始まります

入学式



4

Avril

- 入学式・始業式
- 対面式
- 生徒総会
- 遠足・校外教室

5

Mai

- マリア祭
- 中間試験

6

Juin

- 運動会
- オープンスクール

運動会



7

Juillet

- 宗教合宿
- オーストラリア2週間プログラム
- 期末試験
- 静修日
- 球技大会
- 芸術鑑賞教室
- 国際理解教室

8

Août

- 2学期始業式
- 学園祭

9

Septembre



中高別にクラス対抗でダンスを発表します

ダンスコンクール



10

Octobre

- 中間試験
- 親睦の集い
- フランス交換留学(コリブリ)

11

Novembre

- 公開授業
- ダンスコンクール
- 留学生報告会

12

Décembre

- 期末試験
- 静修日
- 生徒会役員選挙
- クリスマスミサ

1

Janvier

- 3学期始業式
- 高校修学旅行
- ニュージーランド中期留学

高校修学旅行



2

Février

- 公開授業
- 学年末試験

3

Mars

- ボランティアセミナー
- 合唱発表会
- 送別会
- 卒業式
- 中学修学旅行

クリスマスミサ



卒業式



聖歌と祈りのうちに聖母マリアをたたえます

学年やクラブでの企画・発表を行います

キリストのご誕生をお祝いします

学びを胸に学園を巣立ちます

ドミニコでの学びの魅力



たくさんの人とつながる楽しさ

高校2年生(生徒会長) [インターナショナルコース]

高1から生徒会長をつとめるなかで、学校にあるさまざまな課題の解決に取り組みました。そのために、まず生徒会の組織自体の改善をめざし、2023年には生徒会会則を改定しました。同学年だけではなく、先輩・後輩などと多くのつながりをもつなかで生徒会の活動をしたり、学校生活を送れたりできることがとても楽しいです。私は中学校からドミニコに入学しましたが、気がつけばいろんな人たちと話をしていたように思います。学業でも、インターナショナルコースでは多くの課題が出されますが、周りの人たちと協力して取り組むなかで次第にこなしていくようになりました。入学したときに懐いていた不安は、時間が解決してくれたように思います。

生徒会活動で培った「人との関わり」

高校2年生 [アカデミックコース]

コロナ禍を経て、対面で授業を受けることの大切さや、学校に来て友人と会えることの楽しさを改めて実感しています。中学生のころからつとめている生徒会役員として、要望が多かったスラックスの導入に向けて企画書を作成し、2024年1月から導入することができました。また学園祭では生徒主体でマラウイの教育支援に関わる募金活動にも取り組みました。マラウイの教育支援活動については、今後他校との連携もすすめたいと考えています。生徒会活動をつうじて感じた「人との関わり」の楽しさを、将来にも生かしていきたいです。今しかない中学生・高校生の時代にやりたいことをやっていこうとする人たちにとって、ドミニコはおすすめです。



仲間とともに語学を深める

高校1年生 [インターナショナルコース]

小学校のころから語学が好きで、フランス語は高校1年生でも選択しました。単語や文法を学んだのち、自分で文を書いてみたり、ペアで文章を読んだりと、授業内ではさまざまな活動があって楽しいです。インターナショナルコースの英語の授業は、授業内で発言を求められる機会が多いことが特徴です。中学生のころは苦痛に感じることもありましたが、今では自信をもって自分の考えを述べられるようになりました。プレゼンテーションも、仲間とともに、内容にこだわって取り組んでいます。高校2年生になるとクラブ活動や行事などを引っ張っていく存在になるので、同級生たちと協力しながら前に進んでいきたいと思います。



新しいことへの挑戦

中学3年生 [アカデミックコース]

難しい勉強や多くの学校行事を協力しながら乗り越えていく仲間の存在が、日々の学校生活に樂しみを与えてくれます。クラブは管弦楽部に所属し、中学入学と同時に始めたヴァイオリンのレッスンを重ね、演奏の技術を向上できるよう日々励んでいます。合奏のときに、全員がいることでしか出せない音を聞けるのが好きです。後輩に教える際にも、少しずつでもよいので着実に演奏できるようになってほしいということを意識しています。これからどんなことをしたいか明確には決まっていませんが、自分にどんなことが向いているか、新しいことに挑戦しながら考へたいと思います。そして人を幸せにし、それによって自分も幸せになれる仕事に就けたらいいなと考えています。



「真理を求め、自由に生きる」—中学・高等学校で何を学び、何を考えたのか。

さまざまな学びをドミニコ生たちに語ってもらいました。(2024年3月取材)



島田 智子 さん

2010年度 卒業生

聖マリアンナ医科大学医学部
医学科卒。
現在、杏林大学医学部付属
病院産婦人科勤務。



小池 みづも さん

2013年度 卒業生

上智大学文学部英文学科
卒。大学卒業後は星野リゾート
に就職し、その後島根県の離島
で高校生の教育支援に携わる。
現在は育児と幼児英語教室
講師を両立。

濃密な6年間をともに過ごし、今でもよく会う中高時代の友人は私の宝物です。私のような小学校からの進学生も、狩野さんのような中学からの入学生もお互いに影響を与えながら成長できる環境は、他者を尊重するドミニコ学園ののびやかな校風の現れだと思います。大学卒業後ワーキングホリデーでカナダに行ったり、高校のころから好きだった英語に携わったりするという現在の生き方を中高時代には想像していませんでしたが、ドミニコ学園で培った安定感が根底にあったから、「どうにかなるだろう」と選択ができたのだと思います。自分の原点である中学・高校時代に一生の友人とめぐり合い、先生方も「こうあるべき」と決めつけずに可能性を高めてくれたことの意味は、とても大きいです。



狩野 萌子 さん

2013年度 卒業生

青山学院大学教育人間科学部
心理学科卒。現在、JR東海
に勤務。中高時代から続けてい
るクラシックバレエにおいても活
躍している。



目黒 遥菜 さん

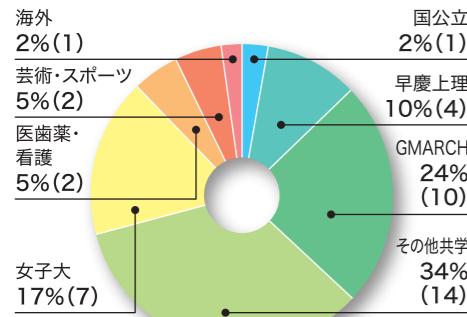
2018年度 卒業生

武蔵野音楽大学音楽学部演奏
学科ヴィルトゥオーゾコース卒(ピア
ノを専攻)。現在、同大学院音楽
研究科修士課程器楽専攻ヴィル
トゥオーザコース在学。学部卒業
時、皇居東御苑内桃華楽堂での
音楽大学卒業生演奏会に参加。

中学校からドミニコに入ったときには女子校という環境に衝撃を受けましたが、どこかかゆったりとしていて、多様な考え方をもつ友人たちに魅力を感じました。高校2年生のときは小池さんとともに学園祭実行委員として、学校の魅力を学外の人に伝える企画を考えました。また多くの方に足を運んでもらえるよう、近隣の掲示板などにポスターを貼らせてもらったこともよく覚えています。新しいことに挑戦したり、困難を突破したりしていく力は、現在仕事をしていくうえでも役立っています。進みたい道のある人を後押しし、まだ道が見つかっていない人にはそれが見つけられるようサポートしてくれることが、ドミニコの良さでしょう。卒業以降も友人や先生方との関わりが続くことも、小規模校ならではだと思います。

「自ら選んだ路」に 進んでいく

2023年度卒業生 4年制大学進学先 グループ別比率・人数



※()内は現役進学者数です。
注: %の値は四捨五入のため、%値の単純合計は100%にならないことがあります。

3割以上の生徒が難関大学に合格。

多様な進路希望を実現！

例年、3割以上の生徒が難関大学(国公立、早慶上理、GMARCH)に合格しているほか、芸術系や医歯薬・看護系にも合格者がいます。大学の知名度だけではなく、自分が本当に学びたいことは何か、真剣に考え、こだわり抜くことによって、こうした多様な進路選択が可能になっているといえるでしょう。

進路指導体制

生徒面談・保護者面談を中学1年生から重ねていくなかで、生徒自身とともに進路を考えています。進路指導にあたっては、本校進路指導部が小冊子『進路の手引き』を毎年発行し、進路の捉え方をはじめ実際の受験に関する最新の情報を提供しています。

また中学校では年2回、高等学校では年3回、学力テスト(模擬試験)の機会を設け、学習状況の確認と改善に役立てられています。このほか高等学校では、高1でGTEC(校内)、高2でTEAP(外部会場)を受験します。

近年増加している総合型選抜入試については、小規模校の強みを生かし、担任を中心にさまざまな教員が面接練習などを通じてサポートにあたります。

最近3ヶ年の4年制大学合格者数

学校名	卒業年度	2021	2022	2023
卒業生数	66	38	46	
4年制大学	195	96	144	
東京学芸			1	
奈良女子	1			
国際医療福祉			1	
東京国際			1	
獨協	1		2	
川村学園女子	3			
三育学院	1			
明海			1(1)	
天使		1		
青山学院	2	6(2)	4	
跡見学園女子	2			
桜美林	6	3	1	
大妻女子	2		3	
学習院	3	2	4	
学習院女子	3		1	
共立女子	4		2	
杏林	1	1		
北里	1		1(1)	
国立音楽	2			
慶應義塾	1	1	1	
恵泉女学園	2			
工学院			1	
國學院	2	2	2	
国士館	1			
駒澤	4		2	
駒沢女子	1		1	
産業能率		1		
昭和		2(2)		
昭和女子	4	1	2	
白百合女子	2	4	9	
順天堂	1			
上智	2	2	2	
女子美術	2			
実践女子	1		2	
成蹊	1	2(2)		
成城	7	3	6	
聖心女子	5	8	7	
清泉女子		3		
聖路加国際		1		
専修	1	2	4	
拓殖			1	
多摩	1		1	
玉川	2	5	1	
多摩美術	2	1(1)		
大東文化	1			
中央	3	2	3	
津田塾			1	
帝京			1	
帝京平成	1			
東海	13	1	9	
東京音楽	2			

()内は既卒生内数。2024年4月1日現在。4年制大学の掲載順は河合塾コード表による。

学校名	卒業年度	2021	2022	2023
東京家政				1
東京家政学院			2	
東京慈恵会医科大学			1	
東京女子	2			
東京通信				1
東京都市				2
東京農業	5(2)		3	
東京福祉	1			
東京薬科	1		1(1)	
東京理科	1			
東洋	7		7(1)	
日本体育	5		2	
二松学舎	2(2)			
日本	5	3	5(3)	
日本歯科		1(1)		
日本女子	2	1	2	
日本女子体育	1		1	
日本赤十字看護		1		
文化学園	1			
法政	6	7	2	
星葉科	1			
武蔵			3	
武蔵野	1	1		
武蔵野美術	2			
明治	13	1	8	
明治学院	10	3	9	
明星	2			
目白		2		
立教	7	7	6	
立正		1		
和光	2			
早稲田	6		3	
麻布	1	3	1	
神奈川	4	2	3(2)	
関東学院	1			
相模女子		2		
昭和音楽	1			
聖マリアンナ医科大学	1			
洗足学園音楽	1			
田園調布学園	1			
東洋英和女学院	3	2	3	
フェリス女学院	4	1	1	
龍谷	1			
立命館アジア太平洋		1		

生徒自身の選択を尊重しながら、希望する進路の実現に向けてあらゆる場面からサポートします。
フランス語履修の強みをいかした進路も本校の特色です。

卒業生の声

もっと多くの卒業生の声をご覧ください



2023年度卒業 東京学芸大学 教育学部 文学科

山崎 莉々絵さん



私はずっと本の虫でしたが、ドミニコで学ぶうちにより本を好きになりました。古文を学んだことで現代訳す前の文を読んだり、フランス語の授業で詩や小説を扱ったことで翻訳する立場から文章と向き合ったりするようになりました。そこで翻訳とはなんなのか、どうあるべきなのか、そもそも翻訳は必要なのかなど、様々なことを考えました。学校で習うのは基本的なことですが、そこに本を連れてくると、とても深い理解に、強い印象になりました。

2023年度卒業 東京学芸大学 教育学部 学科教育教員養成課程A類家庭コース

水野 舞音さん



私はこの学園で、先生方や後輩たちに支えられながら多くのことを学びました。特に私が高2から行ってきた探究の過程では、先生方との対話を通して自分の考えを深めることや学ぶ楽しさを知ることができました。また私は、探究を通して多くの後輩とも繋がることができ、互いに探究を深め合う中で、学年の壁を越えて学び合えたと思っています。先生方や後輩たちから学んだ知識や経験を、大学や自分が教師になった際に活かしていきたいです。

指定校推薦の紹介 主な4年制大学(抜粋) [全93校] (2024年度入試実績)

- 上智大学 (外国语学部フランス語学科・神学部)
- 立教大学 (異文化コミュニケーション学部)
- 青山学院大学 (文学部日本文学科・理工学情報テクノロジー学科)
- 中央大学 (文学部フランス語文学専攻)
- 明治大学 (文学部文学科フランス文学専攻)
- 獨協大学 (外国语学部フランス語学科)
- 日本歯科大学 (生命歯学部)
- 東京家政大学 (健康科学部看護学科・リハビリテーション学科作業療法専攻・理学療法専攻・子ども支援学部子ども支援学科)
- 成城大学 (経済学部経済学科)
- 明治学院大学 (法学部法律学科)
- 東海大学 (文化社会学部北欧学科)
- 玉川大学 (教育学部教育学科・乳幼児発達学科・文学部英語教育学科・国語教育学科・芸術学部各学科・経営学部国際経営学科・観光学部・リベラルアーツ学部・農学部生産農学科・生産農学科 理科教員養成プログラム・環境農学科・先端食農学科・工学部デザインサイエンス学科・情報通信工学科・マネジメントサイエンス学科・ソフトウェアサイエンス学科・数学教員養成プログラム)
- 神奈川大学 (外国语学部英語英文学科 IESプログラム)
- 聖心女子大学 (現代教養学部 人気制限なし)
- 白百合女子大学 (文学部国語国文学科2名・フランス語フランス文学科5名・英語英文学科3名・人間総合学部児童文化学科・発達心理学科・初等教育学科)
- 清泉女子大学 (全体で2名:文学部スペイン語スペイン文学科・英語英文学科・地理市民学科・文化史学科・日本語日本文学科)
- 東洋英和女学院大学 (人間科学部人間科学科2名・保育子ども学科2名・国際社会学部国際社会学科2名・国際コミュニケーション学科2名)
- フェリス女学院大学 (文学部英語英米文学科・音楽部音楽藝術学科)

人数を表していない学部学科は1名枠

海外大学への進学

- ① 国際大学連合 (I.F.U.) に加盟 (International Federation of Universities)
アイルランド・英国への指定校推薦(学科選考あり)。ファウンデーション・コースを経て、学部に進学する制度です。
- ② 海外大学進学協定校推薦入試制度 (UPAS)
アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアの提携大学(70校)への進学が可能な制度です。協定校の中には、規定を満たせば返済不要の奨学金を受給できる大学も多数あります。

学費・アクセス

學費

学費年額	インターナショナル コース		アカデミック コース	
	①授業料	504,000 円 (月額 42,000 円)	468,000 円 (月額 39,000 円)	
	②維持費	84,000 円 (月額 7,000 円)	84,000 円 (月額 7,000 円)	
	③設備費	72,000 円 (月額 6,000 円)	72,000 円 (月額 6,000 円)	
	④図書費	1,200 円 (月額 100 円)	1,200 円 (月額 100 円)	
その他				旅行積立金(主に修学旅行)など
初年度納付金	インターナショナル コース		アカデミック コース	
	①入学金	300,000 円	250,000 円	
	②施設拡充費	150,000 円	150,000 円	
	③授業料(年間)	504,000 円	468,000 円	
	④維持費(年間)	84,000 円	84,000 円	
	⑤設備費(年間)	72,000 円	72,000 円	
	⑥図書費(年間)	1,200 円	1,200 円	
	⑦生徒会費(年間)	4,200 円	4,200 円	
合 計		1,115,400 円	1,029,400 円	
後援会費	①入会金(初回のみ)	30,000円		
	②会費	60,000円 (月額5,000円)		
	③特別災害費(年額)	3,000円		
後援会費は 1家庭における費用です				

(金額は2024年度実績です。予告なく変更される場合があります)

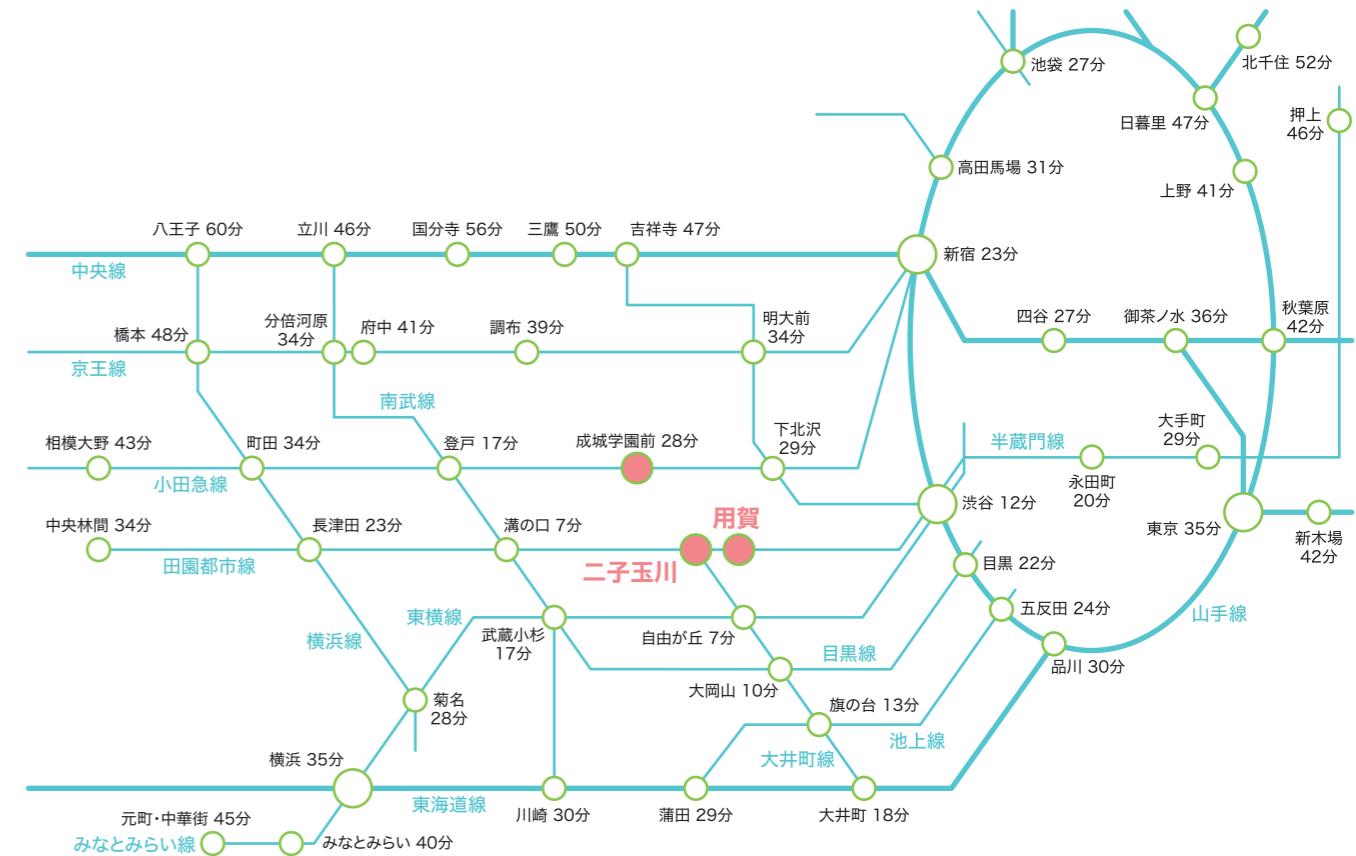
【その他諸費用】

- **教材費**…金額は年度によって多少増減します。各年度、5月と9月の2回に分割して納入します。
2024年度中学1年はインターナショナルコース 85,000円／アカデミックコース 70,000円徴収しました(いずれも年額)。
 - **iPad機器購入費**…2024年度中学1年は付属品、設定、導入時一括管理等諸経費込みで 127,000円徴収しました(分割払い可)。
初年度以降は、iPad関連費として年間 10,000円程度を徴収します。 (金額は2024年度実績です)

【制服等の費用】 2024年度実績

制服等				体操着	
上着	29,700 円	スクールセーター*	8,250 円	半袖ポロシャツ	5,082 円
冬スカート	18,260 円	ハイソックス	1,265 円	ハーフパンツ	4,719 円
夏スカート	17,600 円	ニットベスト*	6,985 円	ウォームアップジャケット*	8,954 円
スラックス*	17,600 円	ダッフルコート*	33,220 円	ウォームアップパンツ*	6,534 円
ブラウス(長袖)	5,720 円	その 他			
ブラウス(半袖)	5,610 円	上履き(牛革)	8,250 円	リュックサック	5,500 円
リボン	1,980 円	通学かばん(ナイロン)	4,500 円	(税込価格)	
ポロシャツ*	4,950 円				

交通アクセス 主要駅からの通学時間目安



通学区域別生徒数 315名 ※2024.4.1 現在

東京都				神奈川県			
足立区	2名	渋谷区	11名	川崎市		横浜市	
江東区	1名	世田谷区	176名	多摩区	1名	青葉区	8名
中央区	2名	新宿区	1名	宮前区	9名	都築区	2名
文京区	2名	杉並区	3名	高津区	11名	中区	1名
港区	4名	中野区	2名	中原区	2名	横浜市合計 11名	
品川区	16名	調布市	1名	麻生区	1名	厚木市	
大田区	26名	狛江市	7名	川崎市合計 24名		厚木市	1名
目黒区	21名	町田市	2名	厚木市合計 1名			
北区	1名	東京23区 268名 23区外 10名		藤沢市			